



波照間小中学校HP

んぎしたお〜りよ〜

※島の言葉・方言で「また、来てください...」の意味

波照間島は、日本最南端の有人島で綺麗な海、明瞭な星空や緑豊かな自然が観光の資源にもなっている。人口は約500人。島への交通手段は石垣島からの船便で、所要時間は70分〜100分。今年の1月より航空便(石垣・波照間：週3便[月・水・土])が“16年ぶり”に再開している。

島には北・南・前・名石・富嘉の5集落があり、神事祭事・伝統行事等が盛んである。基幹産業としては製糖(黒糖)工場があり、サトウキビの製糖期(冬場)は人手不足の為、援農として県外からも就労に訪れている。

また、年間を通して温暖な気候で、自然に魅了された観光客が多く、ペンションや民宿、マリインレジャー等の観光業も盛んである。島の主な公共施設等は小中学校、保育所、公民館、駐在所、診療所、郵便局、町役場出張所、保健センター、共同売店、給油所、酒造所(泡波)、海水淡水化施設、排水処理上、焼却場等がある。島では山羊の飼育も盛んである。 ※幼稚園、歯科診療所...R6:休園・休業中

波照間小中学校は、島の中央部に位置し全面芝生の綺麗な緑のグラウンドを備えた敷地に、令和2年度に新校舎に建て替えられた学習施設と、今年で創立130周年を迎える小学校と創立76周年を迎える中学校の「小中併置校」で歴史と伝統のある学校です。

今年度は、小学校3・4年、5・6年、中学校1・2年生が複式学級で、それ以外は単式学級となっております。児童生徒数の在籍は小学校42人、中学校10人、合わせて52人。教職員数は22人で、教員宿舎も完備(学校近隣及び各集落内)されている。

学校では、地域人材を含む地域資源素材を効果的に活用した学校経営と竹富町が推進する「海に親しむ・海を知る・海を活用する・海を守る」教育活動の「海洋教育」に積極的に取り組み、自然に恵まれた癒しある地域、癒しある学校で「島と海と地域を愛し、共生・協働じりつ(自律・自立)できるウタマ」の育成を目指している。 ※「ウタマ」は島の言葉・方言で「子ども」を表す。

<波照間島：ニシ浜から望む西表島>



水泳教室



黒糖贈呈式

生活支える5つの売店



栄養満点の給食



山羊の飼育



海洋教育の充実(「水泳教室」時の集合写真)



もちきび刈り体験



黒糖作り



運動会「校歌ダンス」

日本最南端の学校

- ◇小学校… 創立130周年
- ◇中学校… 創立76周年

竹富町立波照間小中学校

